堀井学外務大臣政務官によるご挨拶(案) (平成 29 年 11 月 29 日 (水) 10:15~ 閣僚セッション) (於:アシガバット市内ホテル・オグズケント)

マクサット・ババエフ・トルクメニスタン副首相閣下, ラシッド・メレドフ・トルクメニスタン副首相兼外務 大臣閣下,

ウルバン・ルスナック・エネルギー憲章事務局長、

各国閣僚, 国際機関の長, 各国大使, ご列席の皆様,

昨年の憲章会議議長国である日本国政府を代表し、御 挨拶申し上げます。

現在、国際エネルギー情勢は大きく変化しており、この変化はいわゆる3つのシフトに形容されます。

第一のシフトは「供給国のシフト」です。シェール革命を始めとする技術革新により米国等新たなエネルギー 輸出国がエネルギー市場に参入しています。

第二のシフトは「需要国のシフト」です。今後の世界のエネルギー需要の増加は、新興国、特にインド、中国、ASEANといったアジアの国々が牽引します。

第三のシフトは「低炭素化へのシフト」です。気候変動は世界共通の課題であり、全排出量の3分の2以上を 占めるエネルギー部門の低炭素化は必須です。 そのような変革の時代において,我々エネルギー憲章会議参加国は,世界のエネルギー安全保障の強化に向けた取組をバランスのとれた形で進めなければなりません。本日の憲章会議のテーマは「持続可能なエネルギーの将来と多様な輸送ルートのための投資の動員」であり,大変時宜にかなったものです。

議長.

持続可能なエネルギーの将来のためには、エネルギー 投資が必要です。近年のエネルギー価格低迷を受け、エ ネルギー投資、特に上流部門における投資が大きく減少 しています。このような状況が続けば、将来的に供給不 足や価格高騰を引き起こすリスクがあり、継続的なエネ ルギー投資は、エネルギー安全保障の強化のみならず、 世界経済の持続可能な成長のためにも不可欠です。

また、インフラ不足がエネルギー・アクセス向上の妨げとならぬよう、インフラの開放性、透明性、経済性、被援助国の財務健全性といった国際スタンダードに則った「質の高いインフラ投資」を通じて、持続可能な開発目標の一つでもある万人へのエネルギー・アクセスを速やかに達成すべきです。我が国は、ODAを通じ、2011年から5年間で累計127億ドルの世界最大規模のエネルギー分野での途上国支援を行っており、途上国の様々なニーズに応じて共に目標実現に向けて努力しております。

輸送ルートの多様化については、パイプラインガスだけでなく、液化天然ガス(LNG)の取引拡大も重要です。我が国は、より透明で柔軟な、流動性の高い国際LNG市場の発展に取り組んでおり、また、ガスの需給を反映した価格指標の利用拡大や仕向地制限の撤廃等の契約の柔軟性が確保されるべきと考えます。

昨年,我が国が議長国として東京で開催したエネルギー憲章会議において発出された「エネルギー憲章に関する東京宣言」では,エネルギー資源開発、並びにエネルギー分野への投資環境の安定性及び透明性向上のために,投資保護枠組の近代化を含む取組を強化し支援することを決定しました。我が国は引き続きこれらの近代化を支持し貢献していく考えです。

議長,

このように世界のエネルギー情勢が大きく変化する中、 日本の外務省は、本年7月、新しい日本のエネルギー・ 資源外交「日本のエネルギー・資源外交ー未来のための グローバル・ビジョン」を発出しました。

これは、我が国へのエネルギー・資源の安定供給確保を第一命題としつつ、グローバルな課題の解決への貢献が、日本のエネルギー安全保障にもつながるという考えです。

具体的には、第一にエネルギー・資源の自由貿易や投資促進と市場の高度化の推進、第二に万人のためのエネルギー・アクセスの向上、第三に環境負荷の低減とエネルギー効率の向上、第四に新エネルギー・再生可能エネルギーの開発と普及の促進、そして第五に石油・ガスの国際的な緊急時対応能力の強化と世界のエネルギー・ガバナンスの強化、の5点をエネルギー資源外交のビジョンとし、その達成に向け努力していく旨表明しました。

これにより、資源国との相互利益(win-win)が強化され、ひいては日本への安定供給に資するとともに、世界のエネルギー安全保障への日本のリーダーシップを示すことができると信じています。

また、エネルギー・資源は重要な貿易財であり、その自由貿易や投資促進において、エネルギー分野における多国間投資保護協定でもある「エネルギー憲章条約(ECT)」の重要性は増大しております。ECTを通じた投資保護やビジネス環境の整備は、我が国のエネルギー外交のビジョンにも沿うものであり、引き続きECTの活動を支持し支援していきます。

ご清聴ありがとうございました。

(1855文字, 4分30秒(同時通訳))

(了)